

六年生

映

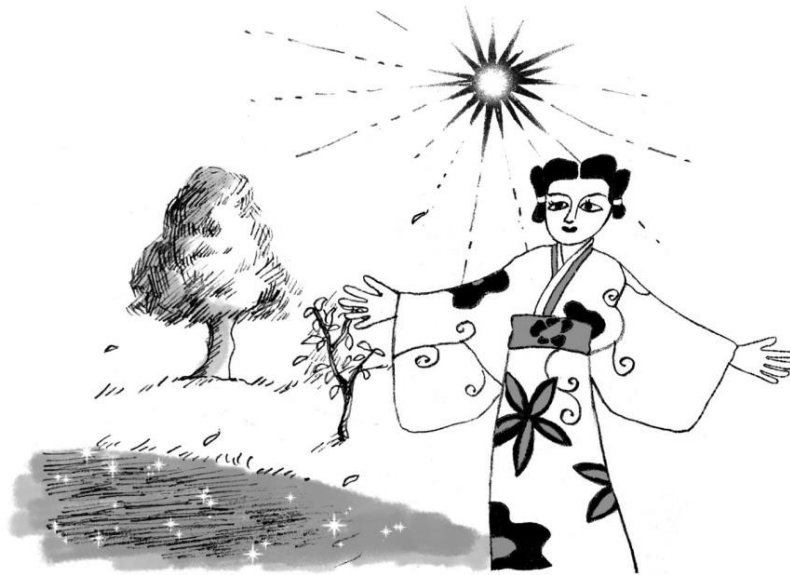
うつる・エイ

小篆 𠄎

漢字の意味

「映」は日（ひへん）と央から成る字です。央には美しく、盛んなものという意味があります。「映」は日に照らされて、明るくうつし出されることを言います。それで「うつる、はえる」の意味になります。

熟語 映像、映画、撮影、反映、放映 ※熟語（二字以上の漢字の語）








六年生






卷

まく・まき・カン

小篆 

漢字の意味

「卷」の小篆「」は  (はん) と  を組み合わせた字です。「卷」は  (けものの皮) を両手で  (人がうつぶせになっているさま) の形のように「まきこむ」意味です。古くは文書を皮や布に書いてそれをぐるぐるまいたものを一巻としました。

熟語 、、、、



六年生

郷

キョウ・ゴウ


甲骨文 

金文 

小篆



漢字の意味

「郷」の甲骨文「」は真ん中に食べ物をもった器があり、左右の人がその食べ物を食べている形です。祖霊をまつて地域の人を集めて食事する

饗宴に招かれる人を卿といい、卿の所有する領地を「郷」といいます。のちに

「郷」は郷土のように「さと、ふるさと、むら」の意味になります。


熟語 こきょう ききょう ぼうきょう いきょう きょうど
故郷、帰郷、望郷、異郷、郷土



六年生

仁

いつくしむ・ジン

金文 

小篆 

漢字の意味

「仁」は人^{じん}と二^{ひと}を組^にみ合^くわせ^あせた字^じです。「仁」はイ^{じん}（人^{ひと}）が二^{ふたり}人^{ひと}いることを示^{しめ}し、
子ども^こを宿^{やど}した母^{はは}とおなかの子^この二^{ふたり}人^{ひと}を意^い味^みします。母^{はは}がおなかの子^こを「いつく
しむ」のが「仁」の意^い味^みです。のちに、人^{ひと}をいつくしむことを言^いうようになりま
す。

熟語 ^{じんあい} 仁愛、^{じんぎ} 仁義、^{じんじゅつ} 仁術、^{じんとく} 仁徳、^{におう} 仁王



六年生

覧

ラン

小篆 

漢字の意味

「覧」は監かんの省略体しょうりやくたいと見けんを組み合わせた字あです。監かんは水盤すいばんに自分の姿じぶんを映すがたしている形うつつです。「覧」は水盤すいばんに映うつった自分の姿じぶんを見ることすがたを言い、「みる、ながめる」の意味いになります。観覧かんらん（劇げきや景色けしきなどを見ること）や一覽いちらん（一通り目ひとつめを通すこと）などの語ごに使つかわれます。

熟語 えつらん 閱覧、かんらんしゃ 観覧車、かいらんばん 回覧板、てんらんかい 展覧会、はくらんかい 博覧会

